

在モザンビーク日本大使館 草の根・人間の安全保障無償資金 2019 年度採択案件

2020 年 2 月 28 日、在モザンビーク日本大使館にて、草の根・人間の安全保障無償資金 2019 年度採択案件の署名式が、三井靖広臨時大使代理の参加のもと開催されました。採択案件の被供与団体を代表して、ワールド・ビジョン・モザンビーク代表 Wagner Herrman de Souza 氏; ソリダーメッド代表 Bárbara Kruspan 氏; AJUPCE 代表 Amílcar Francisco Caetano 氏; Missão Educar 代表 Jill Lovell 氏; DSF モザンビーク代表 Swan Diot 氏; COMPAVI 代表 José Luís Azevedo Fernandes 氏が参加しました。

2019 年度には 6 つの新たなコミュニティ開発案件が草の根・人間の安全保障無償資金に採択されました。分野別では水衛生 1 案件、教育 2 案件、保健 3 案件の 6 案件が、総額 481,737 米ドルで署名されました。各案件の概要は下記のとおりです。

1. ザンベジア州モクバ郡農村部における井戸建設計画

Projecto de Construção de Furos de Água no Posto Administrativo de Mugeba, Distrito de Mocuba, Província da Zambézia.

本案件はザンベジア州モクバ郡ムジェバ行政区ムワキワ地区に 9 基の井戸を掘削し、それぞれに管理委員会を設置するもので、清潔な水を持続的に提供することにより地住民の方々の生活の質の向上を図ることを目指しています。この地域では、雨季の間の河川氾濫とそれによるアクセス遮断により、清潔な水へのアクセスがとて難しくなります。一方で、これまで人口密度が比較的低かったことに加えて、地学的要因から井戸の掘削が容易ではないため、井戸整備が遅れてきました。しかし、近年の人口増加により水供給への需要が急速に高まっています。新設される井戸は 8,123 人の地域住民に安全で美味しい水を提供します。

本案件の供与総額は 90,517 米ドルで、NGO ワールド・ビジョン・モザンビークにより、ザンベジア州モクバ郡で実施されます。

2. カーボデルガード州アंकアベ郡メトロ保健センター太陽光電化計画

Projecto de electrificação solar no Bloco Operatório da maternidade e do laboratório do centro de Saúde de Metoro, no Distrito de Ancuabe, Província de Cabo Delgado.

本案件はカーボデルガード州アングアベ郡のメトロ保健センターに太陽光発電パネルを設置するもので、産科棟及び手術棟への持続的かつ安定的な電力供給を通して、医療の質の向上に貢献します。現状の不安定な電力供給では、帝王切開などの手術が中断されたり実施不可能だったりする事態が発生しています。新たに設置される太陽光発電装置により、妊産婦と新生児の死亡率を削減し、二酸化炭素(CO2)を排出しないエネルギーの利用を促進出来ます。この太陽光発電パネル設置により、メトロ保健センターで受診する年間約60,000人の患者が、安心して手術を受けたり出産できるようになります。

本案件の供与総額は76,600米ドルで、NGO ソリダーメッドにより、カーボデルガード州アングアベ郡で実施されます。

3. ソファラ州ベイラ市中央病院精神科機材整備計画

Projecto de Instalação de Equipamento Hospitalar para Serviço de Psiquiatria e Saúde Mental no Hospital Central da Beira, Província de Sofala.

本案件はベイラ中央病院精神科病棟に医療器材や医療家具を供与することにより、医療の質とアクセスの向上を図るものです。本案件はモザンビークで活動する日本のNGO ピース・ウィンズ・ジャパンによる「ベイラ市中央病院精神科病棟改良計画」と連携する形で実施されます。精神科病棟を始めとし、ベイラ市中央病院は2019年3月の大型サイクロン・イダイで甚大な被害を受けながらも医療サービスの提供を続けてきました。サイクロン被害から蘇った精神科病棟に、医療家具や医療機器を供与することで、年間約3,000人余りがより質の高い医療を受けられるようになります。

本案件の供与総額は71,756米ドルで、NGO 疫病予防撲滅青年協会(AJUPCE)により、ソファラ州ベイラ市で実施されます。

4. ソファラ州ベイラ市職業教育高等学校建設計画

Projecto de construção do Instituto Politécnico Médio Profissional da Missão Educar, na Cidade da Beira, Província de Sofala.

本案件はソファラ州ベイラ市のミッサオン・エデュカール職業教育高等学校に教室4部屋を新築することにより、教育の質及びアクセスの向上と雇用促進に貢献するものです。同校はベイラ市の恵まれない若者にも教育及び職業訓練の機会を提供することにより、雇用促進と産業育成に貢献するべく、建設や農業や機械保守などの学科を設けています。新築

された教室により 600 人の高校生と 52 人教員がより快適な環境で学ぶことができるようになります。

本案件の供与総額は 83,800 米ドルで、NGO ミッサオン・エデュカール (Missão Educar) により、ソファアラ州ベイラ市で実施されます。

5. ガザ州マシンジール郡及びショクエ郡疼痛医療診療室建設計画

Projecto de construção de dois gabinetes de Consultas para o Atendimento da Dor, nos Distritos de Chokwé e Massingir, Província de Gaza.

本案件はガザ州ショクエ郡及びマシンジール郡の保健センターに疼痛医療診療室 (ペインクリニック) を新設するものです。疼痛医療は痛みの治療 (ペインクリニック) とも呼ばれ、慢性的な痛みを解決したり緩和することにより患者の生活の質を高めるもので、ガザ州では特に HIV/AIDS と共に生きる人々の生活の質の向上が期待されています。新設された治療院では年間合計 900 名の人々がこれまでに無かった、より痛みに寄り添った治療を受けられるようになります。

本案件の供与総額は 72,231 米ドルで、NGO ドゥルー・サン・フロンティエール (DSF) により、ガザ州ショクエ郡及びマシンジール郡で実施されます。

6. ガザ州シニャカニネ村落家族農業高等学校建設計画

Projecto para construção de Instituto Agrário Familiar Rural de Chinhacanine, no Distrito de Guijá, Província de Gaza.

本案件はガザ州ギジャ郡のシニャカニネ村落家族農業高等学校に、多目的学習棟1棟を新築し、女子寮を増築することにより、教育の質とアクセスの向上を図るものです。シニャカニネ村落家族農業高等学校は、質の高い高等教育と農業訓練をセットで地元の若者に提供し、農村活性化と雇用促進を図ることを目指しています。新築される学習棟には IT 学習室と図書室と実験室が新設され、学習の幅が広がります。本案件により全校生徒 280 名と学校職員 12 名が、より質の高い教育を楽しめるようになります。また、女子寮の新築により新たに 80 名の女子が地元での就学機会を得ることが出来ます。

本案件の供与総額は 86,833 米ドルで、NGO ヴィセンティアン神父による宣教協会 (COMPAVI) により、ガザ州ギジャ郡で実施されます。

(以下 署名式写真)



署名式全体写真



在モザンビーク日本大使館代表三井臨時大使による開会の言葉



「カーボデルガード州アンクアベ郡メトロ保健センター太陽光電化計画」



「ザンベジア州モクバ郡農村部における井戸建設計画」





「ソファラ州ベイラ市職業教育高等学校建設計画」



「ソファラ州ベイラ市中央病院精神科機材整備計画」



「ガザ州マシンジール郡及びシヨクエ郡疼痛医療診療室建設計画」



「ガザ州シニヤカニネ村落家族農業高等学校建設計画」



署名式の様子